

製品安全データシート

作成日 2016年03月01日

整理番号

1. 製品及び会社情報

製品名	カルトル
会社名	有限会社京都化研
住所	〒612-8208 京都市伏見区下鳥羽但馬町 29-1
担当部門	
電話番号	075-622-3276
FAX 番号	075-622-3806
メールアドレス	kyotokaken@mist.ocn.ne.jp
緊急連絡先	有限会社京都化研 075-622-3276

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

金属腐食性物質	区分 1
爆発物	分類できない
可燃性/引火性ガス:	分類対象外
可燃性/引火性エアゾール:	分類対象外
支燃性/酸化性ガス:	分類対象外
高圧ガス:	分類対象外
引火性液体:	分類できない
可燃性固体:	分類対象外

健康有害性

急性毒性

経口:	区分 4
経皮:	分類できない
吸入(ガス):	分類対象外
吸入(蒸気):	分類できない
吸入(粉塵、ミスト):	区分 4
皮膚腐食性/刺激性:	区分 1 A
眼に対する重篤な損傷性/刺激性:	区分 1

環境有害性

水性環境有害性 (急性)	区分 3
水性環境有害性 (長期間)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報:

飲み込んだり吸入すると危険
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ
呼吸器系の障害のおそれ

安全対策

注意書き:

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
取扱い後はよく洗うこと
この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと

応急処置

飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること
口をすすぐこと 無理に吐かせないこと
皮膚（又は髪）に付着した場合
：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと
皮膚を流水/シャワーで洗い流すこと
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

保管

施錠して保管すること

廃棄

内容物や容器を国/都道府県/市町村の規則に従って適切に廃棄すること

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

含有成分及び含有量

成分名	化審法 No.	CAS No.	含有量 (wt%)
酸類混合物	全て登録済み	全て登録済み	非公開
水	—	7732-18-5	非公開

法規制対象成分:

成分 : 混合物

P R T R法 : 指定化学物質に該当しない

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物:
特になし

4. 応急措置

吸入した場合:

被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

呼吸が止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合:

炎症等、異常を感じた場合は、速やかに医師の手当てを受ける。

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

目に入った場合:

清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後に、直ちに眼科医の手当てを受けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。

飲み込んだ場合:

直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。

被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

無理に吐かせないこと。

最も重要な徴候及び症状:

特になし

応急措置をする者の保護:

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物に触れないよう手袋を使用するなど注意する。

被災者が物質を飲み込んだ場合、人工呼吸は口対口法を用いてはいけない。逆流防止バルブのついたポケットマウスや他の適切な医療用呼吸器を用いる。

5. 火災時の措置

消火剤:

泡・粉末・炭酸ガス・耐アルコール性消火剤・散水・噴霧水
この製品自体は、燃焼しない。

使ってはならない消火剤:

なし

火災時の特有の危険有害性:

特になし

特有の消火方法:

消火作業は、風上から行う。

容器を安全な場所に移動する。移動できない場合は、容器及び周辺に注水して冷却する。

消火を行う者の保護:

消火活動では、耐熱手袋、ゴーグル型保護眼鏡、空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置:

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

作業の際には「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。

環境に対する注意事項:

流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材:

少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

回収物は多量の水で洗い流す。この場合、濃厚な廃液が下水溝、河川等へ流入しないように注意する。

二次災害の防止策:

特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりにミストを発生させない。

眼、皮膚、衣類に付けないこと。

局所排気・全体排気:

「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

注意事項:

換気の良い区域のみで取扱うこと。

「2. 危険有害性情報」を熟知し、人体との接触を避けること。

保管

技術的対策:

換気のよい場所で容器を密閉し保管すること。

適切な保管条件:

直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料:

耐酸容器

8. 曝露防止及び保護措置

設備対策:

近くに手洗い、洗眼などの設備を設ける。

管理濃度:

設定されていない

許容濃度:

設定されていない

保護具

呼吸器の保護具:

適切な保護具を着用すること（耐酸性）

手の保護具:

ゴム製保護手袋

目の保護具:

ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具:

ビニール製保護衣、ゴム製保護長靴

適切な衛生対策:

作業後、手をよく洗い、うがいをしてから、飲食等をする。

9. 物理的及び化学的性質

形状:	液体
色:	無色の透明な液体
臭い(臭いの閾値):	データなし
pH:	約 2.0
融点/凝固点:	なし
沸点:	知見なし
初留点:	知見なし
沸騰範囲:	知見なし
引火点:	知見なし
自然発火温度(発火点):	知見なし
燃焼性(固体、ガス):	知見なし
燃焼又は爆発範囲(下限):	知見なし
燃焼又は爆発範囲(上限):	知見なし
蒸気圧:	知見なし
蒸気密度:	知見なし
蒸発速度:	知見なし
比重(相対密度):	1.04~1.24(25°C)(比重)
溶解性:	可溶(水)
オクタノール/水分配係数:	知見なし
分解温度:	知見なし
その他のデータ:	特になし

10. 安定性・反応性

安定性:

常温、常圧下で安定

危険有害反応可能性:

自己反応性、爆発性なし。

アルカリと接触すると中和熱を発生させることがある

避けるべき条件:

アルカリ物質

混触危険物質:

アルカリ物質、金属

11. 有害性情報

製剤としてのデータは無い。一般的なスケール洗浄剤組成成分である塩化水素の情報を記載する。

急性毒性:

経口 ラット LD50 238-277 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性:

軽度～重度の刺激性、潰瘍や熱傷を起こす恐れがある（区分1）

眼に対する重篤な損傷/刺激性:

重篤な眼の損傷 失明することがある（区分1）

呼吸器感受性/皮膚感受性:

アレルギー性皮膚炎を起こす恐れがある（区分1）

変異原性(生殖細胞変異原性):

データなし

発がん性:

知見なし

生殖毒性:

知見なし

特定標的臓器/全身毒性一単回暴露:

気道、鼻、肺等呼吸器系を刺激し、高濃度の暴露により肺水腫を引き起こすことがある
呼吸器への障害の恐れ

特定標的臓器/全身毒性一反復暴露:

侵食による歯の損傷の恐れ

吸引性呼吸器有害性:

データなし

特定標的臓器/全身毒性一単回暴露:

知見なし

特定標的臓器/全身毒性一反復暴露:

知見なし

吸引性呼吸器有害性:

データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性

魚類:

データなし

甲殻類:

EC50=0.492 mg/L/48Hr (塩化水素として)

藻類:

データなし

水生環境有害性 (急性・慢性)

水生生物に有害

残留性/分解性:

データなし

生体蓄積性:

データなし

土壌中の移動性:

データなし

他の有害影響:

知見のない項目が多いので、一般環境内への廃棄は行わない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物:

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

汚染容器・包装:

空容器を処分する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。汚染容器の廃棄を委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者及び処理業者に委託処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連分類:	クラス 8	腐食性物質
容器等級:	II	
海洋汚染物質:	比該当	

国内規制:

適用法令を参照

特別の安全対策:

特になし

輸送の特定の安全対策及び条件:

労働安全衛生法等の規定に従う。

輸送前に容器の破損、腐食漏れ等がないことを確認する。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

毒物劇物取締法
比該当
労働安全衛生法
腐食性液体
海洋汚染防止法
有害液体物質（Z類物質）（施行令別表表1）
航空法
腐食性物質（施工規則第194条危険物告示別表第1）
船舶安全法
腐食性物質
化学物質管理促進法（PRTTR法）
指定化学物質に該当しない

16. その他情報

引用文献

製品安全データシートの作成指針（社団法人 日本化学工業協会）
ラベル・製品安全データシート作成実務必携（化学工業日報社）
GHS混合物分類判定システム（経済産業省）
危険物ハンドブック
ソーダハンドブック

※ 記載された内容は、入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、含有量、物理的・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

記載された注意事項は通常的な取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、ご使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

重要な決定等にご利用される場合は、文献等をよく検討されるか、試験により確かめられることをお勧めします。